



平成24年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月14日
上場取引所 東

上場会社名 ディップ株式会社

コード番号 2379 URL <http://www.dip-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 富田 英揮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 大谷 栄一 (TEL) 03(5114)1177

四半期報告書提出予定日 平成23年7月15日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第1四半期の業績 (平成23年3月1日～平成23年5月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第1四半期	2,577	23.3	34	△30.0	22	△28.5	9	41.4
23年2月期第1四半期	2,090	△3.6	48	△62.7	32	△76.0	6	△90.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第1四半期	80.89	80.86
23年2月期第1四半期	57.24	57.17

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第1四半期	6,522	3,242	49.7	28,395.10
23年2月期	6,247	3,324	53.2	29,114.21

(参考) 自己資本 24年2月期第1四半期 3,242百万円 23年2月期 3,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	0.00	—	800.00	800.00
24年2月期	—	—	—	—	—
24年2月期(予想)	—	0.00	—	800.00	800.00

(注) 当四半期における配当予想の修正の有無 : 有・ 無

3. 平成24年2月期の業績予想 (平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	5,000	17.7	△700	—	△750	—	△500	—	△4,378.71
通期	12,800	34.4	600	184.7	500	197.9	300	—	2,627.22

(注) 当四半期における業績予想の修正の有無 : 有・ 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

② ①以外の変更 : 有・ 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年2月期1Q	123,620株	23年2月期	123,620株
② 期末自己株式数	24年2月期1Q	9,431株	23年2月期	9,431株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年2月期1Q	114,189株	23年2月期1Q	114,169株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済情勢は、復調が期待されていた矢先の平成23年3月11日に発生した東日本大震災による甚大な被害により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

国内の雇用情勢につきましても、この度の震災の影響を受け、企業の採用活動に影響が出ることが懸念されております。

このような環境のなか、当社は主力事業であるバイトルドットコム及び平成21年9月にサービスを開始したナースではたらこにおきまして、積極的な成長戦略を実施してまいりました。

これらの結果、当第1四半期の売上高は25億77百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、広告宣伝費及び代理店・地方提携会社の売上拡大に伴う代理店手数料・販売促進費等の増加により、営業利益は34百万円（前年同期比30.0%減）、経常利益は22百万円（前年同期比28.5%減）となりました。四半期純利益は9百万円（前年同期比41.4%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①バイトルドットコム

バイトルドットコムにおきましては、前事業年度に戦略投資として実施した新機能導入のためのシステム開発及び認知促進とブランディングのための広告宣伝投資により構築した、強固なユーザー基盤によるシェア拡大を図ってまいりました。

これにより、当セグメントにおける売上高は19億52百万円、セグメント利益は3億1百万円となりました。

②はたらこねっと

はたらこねっとにおきましては、企業の派遣需要の減少に伴うスタッフ募集ニーズの低迷が継続いたしました。

これにより、当セグメントにおける売上高は2億65百万円、セグメント利益は91百万円となりました。

③ナースではたらこ

ナースではたらこにおきましては、TVCFによる認知度向上及び、登録者の増加に対応し、キャリアアドバイザー体制を強化することにより決定者数の増加を図り、業績拡大に取り組んでまいりました。

これにより、当セグメントにおける売上高は2億68百万円、セグメント損失は76百万円となりました。

④ジョブエンジン

ジョブエンジンにおきましては、経営資源をアルバイト・パート領域及び看護師紹介事業へ振り向けることに伴い最小限のリソースで効率的に事業を運営してまいりました。

これにより、当セグメントにおける売上高は85百万円、セグメント利益は13百万円となりました。

⑤その他

当セグメントにおきましては、主にバイトルドットコムの飲食店顧客向けサービスによる売上高5百万円、セグメント利益5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末と比較し2億74百万円増加し、65億22百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加9億26百万円、売掛金の減少7億16百万円によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較し3億56百万円増加し、32億80百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加10億円、前受収益の減少4億72百万円及び長期借入金の減少1億74百万円によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末と比較し、82百万円減少の32億42百万円となりました。主な要因は、利益剰余金82百万円の減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ9億26百万円増加し、25億94百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は3億66百万円（前年同四半期比1億43百万円の増加）となりました。これは主に税引前四半期純利益22百万円、売上債権の減少7億55百万円、減価償却費1億5百万円が前受収益の減少4億72百万円、貸倒引当金の減少35百万円を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は1億91百万円（前年同四半期比57百万円の増加）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出1億57百万円、敷金及び保証金の差入による支出24百万円、有形固定資産の取得による支出9百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は7億51百万円（前年同四半期は2億57百万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の純増加額10億円が長期借入金の返済による支出1億74百万円、配当金の支払額73百万円を上回ったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成23年4月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、今後東日本大震災による不透明な経済状況により、業績予想を修正する必要がある場合には速やかに情報開示をいたします。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものではありません。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,594,853	1,668,023
売掛金	1,282,723	1,999,608
仕掛品	3,804	4,232
その他	354,490	624,698
貸倒引当金	△84,074	△80,875
流動資産合計	4,151,797	4,215,688
固定資産		
有形固定資産	321,850	330,874
無形固定資産		
ソフトウェア	1,052,705	1,064,478
その他	263,924	167,500
無形固定資産合計	1,316,629	1,231,978
投資その他の資産		
その他	495,057	522,638
貸倒引当金	△14,483	△53,339
投資その他の資産合計	480,573	469,299
固定資産合計	2,119,054	2,032,152
繰延資産		
開発費	251,851	—
繰延資産合計	251,851	—
資産合計	6,522,703	6,247,840
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,821	161,808
短期借入金	1,000,000	—
1年内返済予定の長期借入金	548,800	548,800
前受収益	—	584,371
その他	782,174	657,138
流動負債合計	2,483,795	1,952,118
固定負債		
長期借入金	795,800	970,500
その他	700	700
固定負債合計	796,500	971,200
負債合計	3,280,295	2,923,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,081,200	1,081,200
資本剰余金	1,131,709	1,131,709
利益剰余金	1,401,627	1,483,741
自己株式	△372,128	△372,128
株主資本合計	3,242,408	3,324,522
純資産合計	3,242,408	3,324,522
負債純資産合計	6,522,703	6,247,840

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
売上高	2,090,447	2,577,629
売上原価	262,286	389,769
売上総利益	1,828,160	2,187,859
販売費及び一般管理費	1,779,169	2,153,582
営業利益	48,991	34,277
営業外収益		
受取利息	366	44
消費税等調整額	—	1,841
その他	2,439	1,075
営業外収益合計	2,805	2,961
営業外費用		
支払利息	5,186	5,996
シンジケートローン手数料	12,493	8,165
その他	2,082	175
営業外費用合計	19,762	14,337
経常利益	32,035	22,902
特別損失		
固定資産除却損	507	—
原状回復費	1,900	—
特別損失合計	2,407	—
税引前四半期純利益	29,627	22,902
法人税、住民税及び事業税	2,598	2,595
法人税等調整額	20,493	11,069
法人税等合計	23,092	13,664
四半期純利益	6,534	9,237

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	29,627	22,902
減価償却費	84,145	105,086
のれん償却額	18,134	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13,292	△35,655
受取利息及び受取配当金	△366	△44
支払利息	5,186	5,996
シンジケートローン手数料	12,493	8,165
固定資産除却損	507	—
原状回復費	1,900	—
繰延資産償却額	—	14,814
売上債権の増減額 (△は増加)	146,432	755,739
仕入債務の増減額 (△は減少)	△31,268	△8,986
前受収益の増減額 (△は減少)	—	△472,416
その他の資産の増減額 (△は増加)	113,842	56,924
その他の負債の増減額 (△は減少)	△55,674	△3,054
その他	△71,684	△55,840
小計	239,983	393,631
利息及び配当金の受取額	366	44
利息の支払額	△7,754	△5,263
シンジケートローン手数料の支払額	△4,487	△4,443
法人税等の支払額	△5,184	△17,639
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,923	366,329
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,043	△9,407
無形固定資産の取得による支出	△128,753	△157,322
敷金及び保証金の差入による支出	—	△24,789
敷金及び保証金の回収による収入	811	490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,986	△191,028
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△183,000	△174,700
株式の発行による収入	600	—
配当金の支払額	△74,843	△73,771
財務活動によるキャッシュ・フロー	△257,243	751,528
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△168,306	926,829
現金及び現金同等物の期首残高	2,692,686	1,668,023
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,524,380	2,594,853

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、インターネットを利用した求人情報の提供と人材紹介事業を主たる事業としており、提供する求人情報サービスの属性から「バイトルドットコム」、「はたらこねっと」、「ナースではたらこ」、「ジョブエンジン」を報告セグメントとしております。

「バイトルドットコム」はアルバイト求人情報を、「はたらこねっと」は派遣求人情報を、「ジョブエンジン」は正社員求人情報を取扱うサイトをそれぞれ運営しており、「ナースではたらこ」につきましては看護師・准看護師に特化した人材紹介事業を運営しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上 額 (注) 3
	バイトル ドットコム	はたらこ ねっと	ナースで はたらこ	ジョブ エンジン	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,952,429	265,774	268,624	85,778	2,572,607	5,022	2,577,629	—	2,577,629
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,952,429	265,774	268,624	85,778	2,572,607	5,022	2,577,629	—	2,577,629
セグメント利益 又は損失 (△)	301,579	91,269	△76,030	13,840	330,659	5,022	335,681	△301,404	34,277

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にバイトルドットコムの飲食店顧客向けサービスによるものです。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△301,404千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。